

(お知らせ)

## アホウドリ新繁殖地形成事業による髯島へのヒナの帰還について

<環境省自然環境局 同時発表>

平成23年3月28日(木)  
(財)山階鳥類研究所

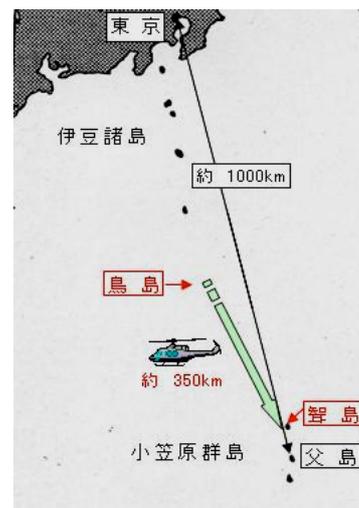
小笠原群島<sup>むこじま</sup>髯島におけるアホウドリの新繁殖地形成事業(伊豆諸島鳥島のアホウドリのヒナを小笠原諸島髯島に移送し、新しい繁殖地を形成する事業(平成20年から実施))において、新たに平成21年に髯島を巣立ったヒナ1羽が髯島に戻ってきたことを3月26日に確認しましたのでお知らせいたします。当事業で平成21年に巣立ちしたヒナの髯島への帰還が確認されたのは初めてとなります

※この事業は、(財)山階鳥類研究所が、環境省、米国魚類野生生物局、三井物産環境基金、公益信託サントリー世界愛鳥基金等の支援を得て実施しているもので、今年度が4か年目となります。

1. 確認された個体(足環で確認)  
平成21年に巣立った個体 Y24 (2歳、雄)
2. 確認された場所  
髯島で飼育を行っていた場所

<参考>これまで確認された個体

- 2月10日: Y01 (3歳、雄)
- 2月25日: Y04 (3歳、雄)
- 3月12日: Y03 (3歳、雌)
- 3月17日: Y06 (3歳、雌)



この件についての連絡先

(財)山階鳥類研究所 (270-1145 我孫子市高野山115)  
保全研究室 室長 尾崎清明 (又は広報担当 平岡考)

電話：04-7182-1107、Fax:04-7182-4342、メール：[ozaki@yamashina.or.jp](mailto:ozaki@yamashina.or.jp)

< 聳島個体の写真 >



\* 帰還したヒナ (Y24 2歳雄)。

写真提供：(財) 山階鳥類研究所  
(画像の元データをご希望の方はご連絡ください)